

平成29年度東北運輸局行政体験研修 (外国人留学生インターンシップ) 研修結果報告書

平成29年9月

東北運輸局観光部国際観光課

平成29年度東北運輸局行政体験研修



行政体験研修(外国人留学生インターンシップ)の目的

- ・行政事務の体験を通じた外国人留学生のキャリア形成支援
- ・外国人目線での観光まちづくり及び行政施策反映

行政体験研修(外国人留学生インターンシップ)対象者(紹介)

NGUYEN THI TRUC MAI(グエン ティ チュック マイ)

宮城大学事業構想学部事業計画学科 2年生

ベトナム ホーチミン市出身。仙台在住4年目を迎える。日本で学んだ経験とスキルを活かし、将来ベトナムに戻り母国の役に立ちたいと思っている。



行政研究テーマ

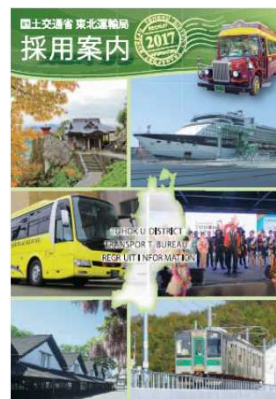
東日本大震災が起きた東北の復興には観光の力が必要だと考えている。東北の観光の現状と魅力を理解したうえで、東北にある観光資源をどのように活用すれば外国人観光客の増加に繋げることができるのかを検討し、自分なりの解決策を提案したい。

平成29年度東北運輸局行政体験研修

東北インバウンドの現状説明(8月16日)

【概要】

- ・研修プログラム調整
- ・東北インバウンドの現状と取組みについて
- ・ビジット・ジャパン地方連携事業について 等



【外国人インターンシップオリエンテーション資料】

東北のインバウンドの現状と東北運輸局の取組み



平成29年8月16日
東北運輸局国際観光課

東北インバウンドの現状説明、ベトナム語講座準備(8月17日)

前日に引き続いて、各種統計データやプロモーション資料を基に東北インバウンドの現状についての理解を深めました。午後からは、局内向けベトナム語講座に向け、講座内容の検討やレジメ作成等を実施しました。



平成29年度東北運輸局行政体験研修

観光振興セミナーへの参加(8月23日)

じゃらんリサーチセンターが主催する「観光振興セミナー2017」に参加し、宿泊旅行の現状やビッグデータを活用した旅行者動向の分析手法、ご当地資源(グルメ)を活用した地域活性化、DMOの意義及び取組事例について学びました。



宮城県南三陸町視察(8月24日)

復興に向かう南三陸町の観光の取組みを学び、震災後の町の現状などを視察しました。また南三陸町観光協会では、協会の取組み等についての説明を受けるとともに、台湾人インターンと活発な意見交換を実施しました。



平成29年度東北運輸局行政体験研修

山形県上山市クアオルト体験(8月31日)

山形県上山市が取り組む「クアオルト事業」について実体験するとともに、外国人目線から見た効果的なプロモーション方策等について、関係者と意見交換をしました。



VJ地方連携事業の情報発信検証打合せ(9月4日)

ビジットジャパン地方連携事業で海外向け情報発信の一環として、SNSを活用した取組みを行っています。

英語圏市場、アジア・ムスリム向け市場、中国市場及び韓国市場向け情報発信について、関係者とともに前月までの事業実施結果について報告を受けるとともに、今後の実施方針について意見交換をしました。



平成29年度東北運輸局行政体験研修

東北運輸局内職員向けベトナム語講座(9月5日)

局内職員向けに国際感覚へのスキルアップを図るためインターン生によるベトナム語講座を実施しました。講座はベトナムの歴史や文化も学べる充実した内容となっており、大変楽しく有意義な講座となりました。(受講者22名)



研究テーマ課題対応(9月14日)

最終日の成果発表に向けて、研究したいテーマの整理を行いました。ベトナム人の訪日データからインバウンドの現状と課題を把握し、東北への誘客に向けた課題解決の方策を研究しました。



平成29年度東北運輸局行政体験研修

OTAセミナー、マーケット研究会への参加(9月15日)

主に東北の宿泊施設を対象とした、オンライン旅行会社と連携した東北地域へのインバウンド誘客施策にかかる説明会に出席しました。午後からは、マーケット研究会に参加し、平成30年度訪日プロモーション地方連携事業東北ブロック方針や、JNTOロサンゼルス及びタイの事務所長からの市場説明及び東北観光推進機構の取組みについて説明を受けました。



成果発表会(9月20日)

局内職員向けに成果発表会を開催しました。セミナーへの参加や東北の観光地視察、関係者との意見交換などを通し、自分なりに東北インバウンドの現状や課題を整理し、課題解決に向けた方策について研究成果として発表しました。(受講者16名)。

東北運輸局観光部国際観光課
外国人留学生インターンシップ成果発表

ベトナム人向け効果的な
東北観光プロモーション方策について

平成29年9月20日
Nguyễn Thị Trúc Mai
グエン ティ チュック マイ



平成29年度東北運輸局行政体験研修



行政体験研修を終えて 【NGUYEN THI TUC MAI】

私は宮城大学で社会問題の研究テーマとして日本の少子高齢化の問題を研究しました。研究することを通じて、日本の高齢化問題が深刻になっていることや、その対策として交流人口が必要とされていることがわかりました。東京や大阪などの大都市は商用などで来る外客が多いですが、東日本大震災にあった東北はどういうふうになれば外国人観光客が来てくれるのだろうと疑問に思いながらインターンシップを受けました。

インターンシップは10日間で行われましたが、東北運輸局の方々の応援のおかげで毎日楽しく過ごせました。東北の観光の状況から現在の実施している事業や今後の目標まで教えてもらえました。また、座学だけではなく、南三陸町や山形県上山市への視察、「じゃらん観光セミナーin仙台」、「平成30年度マーケット研究会」にも参加させていただきました。南三陸町では、震災後の復興の取組みを勉強したり、さんさん商店街で美味しいねぎとろ丼もいただいたり、台湾のインターン生との交流もできました。山形県上山市では、クアオルト健康ウォーキングができ、私自身は運動が好きなので体験ができて嬉しかったです。私は仙台に住んで4年目ですが、こんないい所があることを知らなかったのも、他の地域に住んでいる外国人や訪日外国人も知らないと思うので、多くの人々に伝えたいと思うし、是非一度来ていただきたいと思いました。観光に関するセミナーや研究会では、各機関の取組みについて詳しく知ることができました。東北をよくするために、各機関はどのように取り組んでいるのか、その頑張っている気持ちも良く伝わりました。仙台に住んでいる私も何かを協力すべきだと思うようになりました。そして、東北の観光をよくするという狙いは、観光に関する機関だけではなく、東北の市民及び東北に住んでいる外国人も協力すべきだと思います。

私はこのインターンシップに参加してはじめてベトナム語講座を経験しました。ベトナム語の講座を通して、ベトナムのことをより多くの人に、より詳しく伝えることができました。ベトナム人とはいえ、ベトナムの全部のことを知っているわけではないので、講座の準備で母国の知識を充実することもできました。

短い期間でしたが、観光の知識を深めることができました。大学で観光学という事業も履修しましたが、やはり理論的な知識だけではなく、実践的な知識、現地での体験、現地の人との交流ができるとより理解しやすいと思います。インターンシップで学んだことを活かして、観光の知識をより深めることができれば、今後の就職の一つの道になるのではないかと思います。